

平成 26 年 7 月 10 日

各府省庁等情報セキュリティ担当課室長 殿

情報セキュリティ対策推進会議オブザーバー機関情報セキュリティ担当課室長等 殿

内閣官房情報セキュリティセンター

内閣参事官（政府機関総合対策促進担当）

情報システムで利用しているソフトウェアのサポート終了に伴う対応について（注意喚起）

ソフトウェアベンダによるサポートを受けているソフトウェアについては、当該サポートの終了に伴い、情報セキュリティ関連の脆弱性を修正するための修正プログラムがソフトウェアベンダから原則として提供されなくなり、これらのソフトウェアを利用している情報システムに関しては、ウイルス対策ソフトウェアを導入するなどの対策を講じていたとしても、不正プログラム感染や不正アクセスによる情報漏えい等のリスクが高くなります。

最近の例では、Windows Server 2003^{*1}については、約 1 年後の 2015 年 7 月 15 日にサポートの終了が予定されており、独立行政法人情報処理推進機構から当該ソフトウェアを利用している企業・組織に対して、当該ソフトウェアサポートが継続している OS へのバージョンアップ実施を呼びかける内容の注意喚起が発表されているところであり、利用しているソフトウェアのサポート終了に備え、所要の対応を講ずる必要があります。

つきましては、各府省庁の情報システムを構成するサーバや端末等の機器で利用している OS、ミドルウェア、アプリケーション等の各種ソフトウェアのソフトウェアベンダによるサポート期間を適時確認し、サポート終了までにソフトウェア更改等の必要な対応を徹底するようお願いいたします。

また、現在運用している情報システムに限らず、情報システムの新規調達又は更改の際には、サポート期間を考慮した上で導入するソフトウェアを決定するようお願いいたします。

（参考）

- 「府省庁対策基準策定のためのガイドライン」（NISC、平成 26 年 5 月 19 日）の「6.2.1 ソフトウェアに関する脆弱性対策」

<http://www.nisc.go.jp/active/general/pdf/guide26.pdf>

- 「サポートが終了する Windows Server 2003 を利用している企業・組織への注意喚起」（独立行政法人情報処理推進機構）

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20140708.html>

- 「Windows Server 2003 のサポートが終了します」（マイクロソフト社）

<http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/local/products/windows-server-2012-r2/migration/campaign.aspx> ^{※2}

○マイクロソフト プロダクト サポート ライフサイクル (マイクロソフト社)

<http://support.microsoft.com/lifecycle/?C2=1163> ※2

※1 マイクロソフト社のソフトウェア製品。ウェブサーバやファイルサーバ等の各種サーバで使用されることが多い。

※2 URL については廃止や変更されることがあります。最新のアドレスについては、ご自身でご確認ください。

本件問い合わせ先

内閣官房情報セキュリティセンター

政府機関総合対策促進担当 山下、杉浦、永野田

(03-3581-3959)